

つながる が あ る

大倉山ミエルは神奈川県との協働事業で『孤の解消』のために

「活動団体がつながる 2021~3年度 ことよる コミュニティ活性化」

- ボランティア基金21事業では
- ① 大倉山ミエルや大倉山地域での協働事業等の活性化と、その見える化
- ② それらを基にした県域への展開
- ③ コミュニティ活性化のための人材育成のためのOJT的研修・つながりづくりを行いました。

NPO法人 街カフェ
大倉山ミエル



目次

- ・ 事業概要
- ・ 大倉山ミエル？
- ・ 事業内容
- ・ 事業後の展開

神奈川福祉協会 理事
NPO法人 市民セクターよこはま 理事長
NPO法人 横浜プランナーズネットワーク
横浜コミュニティカフェネットワーク 世話人
NPO法人街カフェ 大倉山ミエル 理事長

鈴木 智香子



● 事業概要

こんなことをしました。

① 目的

：地域における市民活動団体は多数存在するが、各々が個別の課題の中で活動を終始しがちであり、地域課題の共有化が進まない状況にある。本事業は、個々に地域で活動している団体をつなぎ、複数の活動団体が共に連携して事業を行うことで地域コミュニティが活性化し、地域で暮らす人がさまざまな地域活動をより身近に感じられるようになり、より多くの人々が「コミュニティ」に参画することで、県民の「弧」の解消を図り、未病改善等に必要な要素である「社会参加」を促していく。

② 概要

① 大倉山地域での地域協働活動の推進展開のための見える化

：大倉山モデル地域において、これまでの地域活動の新たな展開として、各々の活動団体の地域活動をつないで、地域協働活動を起こし、その効果と課題を見える化、モデル化し広く県域に展開する。

② 県域への展開

：域モデル地域内で当該地域に対して地域協働活動のコーディネートと活動の見える化を支援する。

③ 普及のための研修

：地域協働活動を主軸とするサポーター研修を定期的実施し、地域で活躍できる人材を養成し、それぞれの地域に持ち帰り、その地域に存在する市民活動団体同士をつなぐことによって、コミュニティ活動を活性化させる。

活動団体がつながることによる地域協働の活性化事業

③ スケジュール

※地域協働活動：地域での複数団体等が共に事業を行う活動。

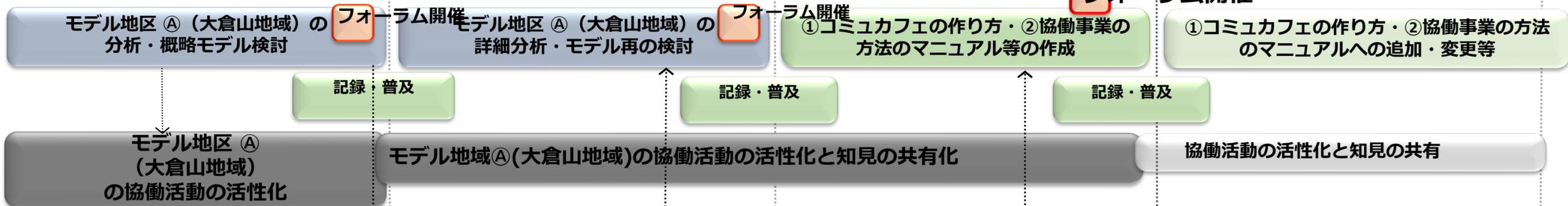
2021年度 (R3)

2022年度 (R4)

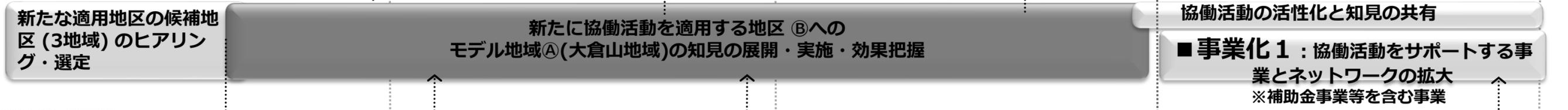
2023年度 (R5)

2024年度 (R6)

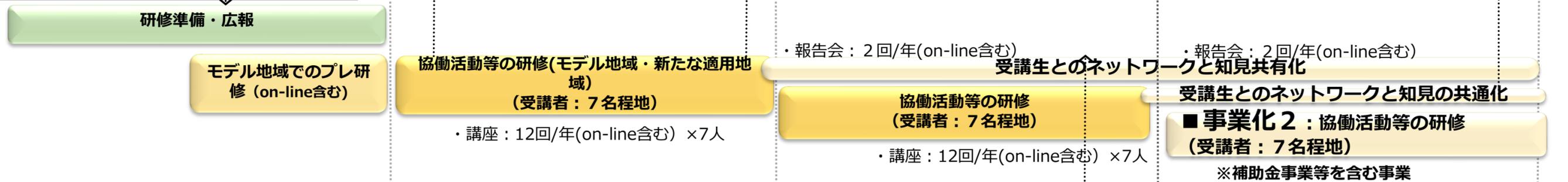
■事業1：大倉山モデル地域での地域協働活動の推進事業



■事業2：県域モデル構築事業



■事業3：普及のための研修事業



課題：地域活動に連携活動が少なく、地域の課題、解決策の共有活動が進まない。



目的：アウトリーチを重視した地域協働を広げていくことで、地域のコミュニティ活動の活性化と人材育成と普及を図る。

● 大倉山ミエル？

■ ミエル企画部・ミエルALL

1 自然発生型の組織：

子ども食堂、みんなの食堂
から生まれたLINEグループ

2 自立性重視：

いつの間にか活動している。
「ミニフリマ」「迂闊カフェ」
「みかん会」…

3 LINEグループ：

情報共有・コミュニティの醸
成、テーマ型コミュニティ。

4 世代交代：

育休中の親が中心：毎年次期
を誘う。そして、ゆるくかかわ
り続ける。

■ ミエルのパンフ 「ミエルの木 2021」

大倉山ミエルは、近所の -1歳から100歳のゆるい居場所となり。そして、港北、横浜のコミュニティ活動の活性化も目指しています。そのために、300m 徒歩圏のインフォーマルな小さな居場所の重要性をつたえる様々な活動に取り組んでいます。

大倉山ミエルは『新しい地縁』のある、心豊かで、のんびり過ごせる自分たちの街づくりを目指し、妊産婦からシニアまで、いつでも気軽に立ち寄れる居場所になり『聞き合える関係性』のある『人と出会う』場を目指します。

大倉山ミエルは、ミエル企画部という自主的な企画・運営を行っているグループに支えられながら運営しています。又、地域の様々な関連機関や団体と繋がりを日々、楽しみながら活動をしています。

● NPO法人街カフェ大倉山ミエルの事業

① 自由な居場所
ミエルは、妊産婦・乳幼児からシニアまで、いつでも気軽に歩いて行ける居場所。そして、小さなNPOの自由度が高く、すぐ実行できる居場所を目指しています。社会的処方考え方や、コミュニティナース的取組も参考にしながら、居場所の有り様や運営方法も常に試行錯誤しながら進めています。

② 地域のハブ活動
大倉山、大倉根、畔阿、菊名を含む大倉山周辺、ゆるく「大倉山地域」の様々な活動を関連づけ、さらに、協働活動をより活性化することで、心豊かで、のんびり過ごせる、そして自分たちで考える「まちづくり」につなげていきたいと考えています。ミエルも自主事業として、様々な活動団体、関連行政機関、企業とも、活動当初から「活動をつなぐ活動」として行なってまいりました。これからは一層、ゆるくつなげていきたいと考えています。

③ コミュニティ活性化支援
ミエルは大倉山地域での近所の居場所、地域のハブ機能、コミュニティ活性化活動等の経験を活かし、様々な地域で自由な居場所の重要性、そして、地域協働活動の活性化を大切にして支援活動も行っています。

① 2021年度から3年間の予定でボランティア募金21で神奈川県との協働事業「活動をつなぐことのできる地域協働の活性化事業」を行っています。②横浜プランナーズネットワーク、③市民セクター横浜、④フォーラムアソシエ等に所属し活動しています。
居場所の立上げ・運営支援、活動のレベルUP支援（ヨコハマまちづくり事業の支援：4件採択）、各種支援事業の受託支援、他団体・関連機関等との協働活動の支援等、コミュニティ活性化全般の支援を行っています。

● ミエル企画部
● ミエルALL：2021年5月に更新し、再加入をお願いしたlineグループ、その他に多くの企画・運営グループがあります。
● ミエル企画部：ミエルを知って、自由に、迂闊に、楽しくやりたいことを企画、運営、サポートするグループ。

● 共催、参加又は持込企画

● 港北区みんなのチカラ応援事業
● 産後子ども支援プログラム
● 募金21 神奈川県協働事業等の支援を受けています。

「ミエルの木」

7

Café Miel Okuyama

● 全ての活動を温かく見守るミエルという家（プラットフォーム）

■ミエルのパンフ「ミエルの木 2021」

1 価値創造型

ミエルのコミュニティは課題解決型ではなく、**そこにいる人が必要な事、やりたい事を、できることから始めるタイプ**です。

2 ゆるく

できる範囲で無理なく、楽しく始める活動です。いつも、「良いね！やってみて！」
(心的安全性)

3 全員が仲間

「無理なら、いつでもやめていいよ。」と言っています。サポートというより、**全員が仲間**として考えています。

大倉山ミエル 2021




大倉山ミエルは
自由に、迂闊に、楽しく
やりたい事をやる場所

ミエルで
近所に友人を見つけて
ください。



★ ミエルの自由な居場所活動 2021

- 妊婦・乳幼児親子の活動**

みつばち探検隊
週に2回、毎月同じメンバーで、おさんぽに出かけていきます。のんびり、ゆったり、歩いたり、遊んだり、食べたり、そんなこどもの時間を一緒に考え、作っていく方を募集します。

薔名・赤ちゃんカフェ
毎週金曜 10:00～12:00
ハイハイする前の親子がのんびり、おしゃべりできます。保育士のみなみさんが、毎回います！

ほほカフェ
妊婦さんって4か月までの赤ちゃんが、地域でのんびり送る場所。店主は「ここみておね」のほうださん。妊婦さんの広場とミエルで2～3かい、13:00～開催。赤ちゃんのお見つけ交換、指って体験もできます。
- 森のようちえん**
ミエル設立前から始めた活動で、無言の公園や道端に自然がいっぱいで、小さいころから、自然を感じながら育ってほしいという思いから始めています。現在はインストラクターの寿元さんが、身近な公園などで、自然観察、自然遊びを企画・運営しています。自然を感じることに先に人を感じる事があると思っています。
- 小学生の活動**

放課後ミエル
基本、週に2回、15:30～17:00に小学生を対象に自主的に選んでもらえる時間を設けています。子どものやりたいから生まれた『子どもジャーナリスト講座』等も開催しました。先日子どもたちの企画で「逃走中」を新橋元公園で開催しました。子ども発案の、色々な企画も作戦会議中です。

こども哲学(共催)
生活クラブとの共催で、月1回のペースで小学5年生6名が、子どもが考える疑問を、子どもたちを主体に話し合いをしています。生活クラブ「生活と自治」にも連載されています。

- 大人の部活動**

Edu Cafe
あるお父さんの発案で親同士で教育を巡りから考える時間を共有する試みとして、大塚公園や大倉山ハイムの中庭」の林間でピクニックを兼ねて開催中です。

ミエルの部屋
様々な海外での生活や仕事の話「フィリピンでのJAICAの仕事や現地の生活」「大倉山で特異な生活」「ドイツの子育て」等を近所に住む方に話していただいています。毎日の生活の関する意見を広げる活動として。

子ども食堂・フードパントリー
子ども食堂、みんなの食堂はコロナ前まで20食3回開催していましたが、現在は、第2金曜日と第4水曜日にフードパントリーと配食をしています。今は社協やスクールソーシャルワーカーともつながっています。

みかん会
子どもの悩みを伝える親御さんたちが、お互いの悩みを話し合う会です。今は月一回の夕方から夜に、小中学と高校生の2部に分けて開催しています。
- シニアの活動**

お出かけミエル
シニア向けの毎月月曜と水曜日の10:00～12:00に開催中です。お茶とお弁当付きで500円です。ゆったり、おしゃべりや軽やかな体操や、水曜日には近所の方のピアノ演奏してくれる時間も有ります。定員6名です。
(横浜市的生活支援補助事業サービスBです)

認知症カフェ
大倉戸エアプラザの支援を受けながら、近隣対象の認知症カフェを第2水曜日14:00～15:30、1回/月開催しています。試しにでもいらしてください。無料です。

■住所：横浜市大倉山4-36-26 (東急東横線大倉山駅から徒歩12分)
[マンション「クラシエルト」内]



ミエルが、ミエル企画部、他、様々な活動をLINEグループで運営しています。ぜひ、ご参加ください。

主な催事：お出かけミエル：毎週月・水10:00～13:00、ちびっ子ミエル：火・木10:00～12:00、放課後ミエル：月・水・金15:30～17:00等
定員：新型コロナ対策上、定員6名、全て事前申込をお願いします。

連絡・申込方法：大倉山ミエルに電話またはメール (TEL: 045-717-6778、Mail: mieeru@f6so-net.ne.jp、代表：鈴木 智香子)

● 事業内容：ミエルの見える化から

■ ミエルのこれまで：居場所活動

● 居場所活動：

大倉山ミエル・地域での協働活動の見える化 2021

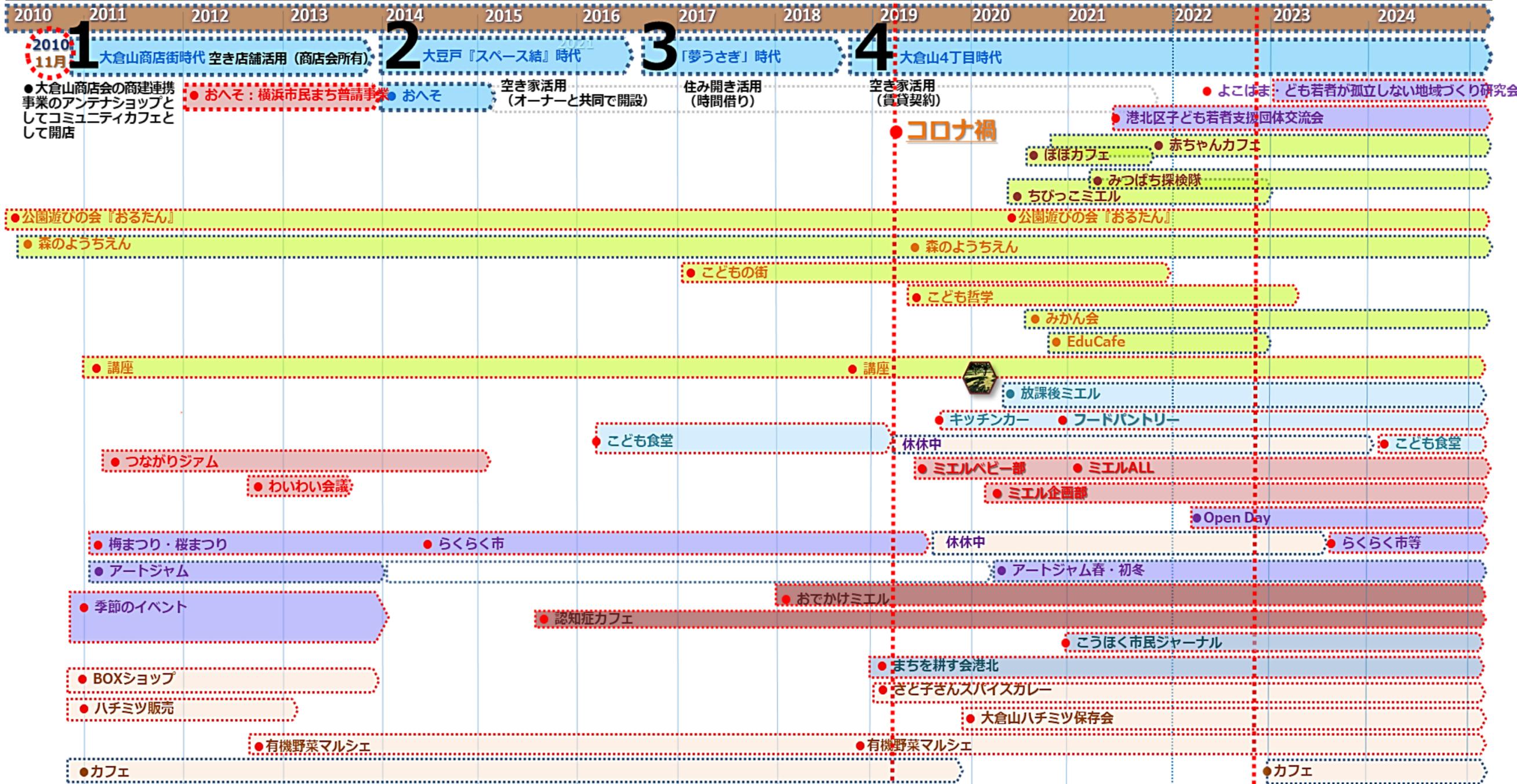
ボランティア基金21の神奈川県との協働事業



●大倉山ミエルの11年の活動の見える化により、活動の活性化のポイントや有り様を分析するための「イシューMAP」です。



大倉山ミエルの活動・ひと・活動団体・協働活動・補助金等について、ミエル開設から11年の有り様を見える化します。様々な変化にどんな理由があるのか考察します。



■ ミエルの活動

① 居場所活動

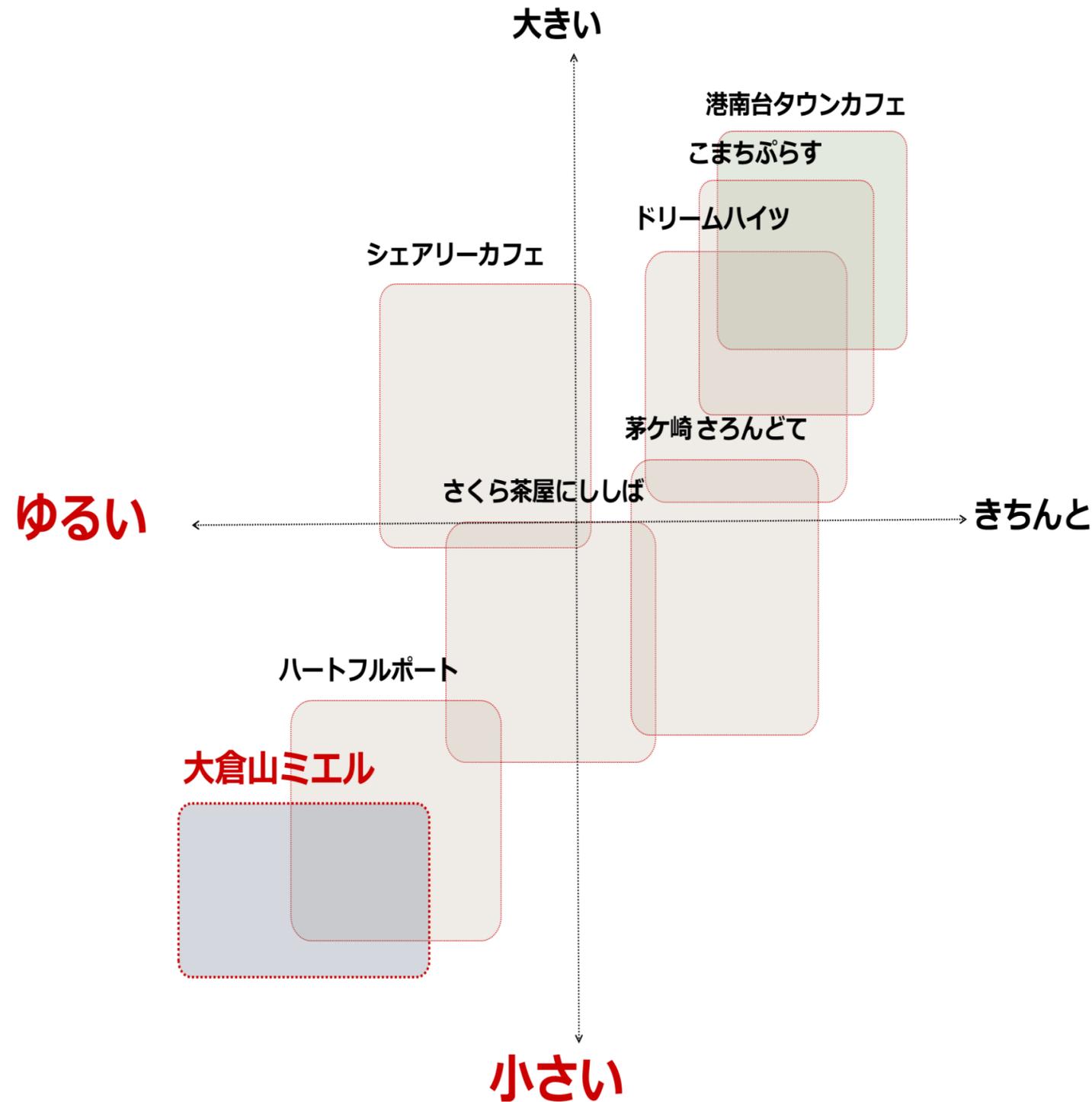
② 地域連携活動

③ コミュニティ活動支援



■ 様々なコミュニティカフェ

*ゆるさ：あくまで主観的イメージです。



● 大倉山ミエルの特徴：

- ① **小さい**：少人数でできる。動きが速い、ボランティアでやりやすい、始めやすく、やめやすい
- ② **多世代**：全生活、多世代 -1歳～101歳、ケア～ビジネス、環境～産業、歴史～アート、何でもOK、連携・協働しやすい
- ③ **ゆるさ**：気が楽、自由度が高い、PDCAが早い、チェックが小、変更し易い
- ④ **自立性**：参加者の自立性の意識化、やりがいの実感、運営者の軽減
- ⑤ **連携性**：人脈、情報入手、知見のFB、ネットワーク型組織

小さい



小さく始めやすい。
リスクが少なく済む。

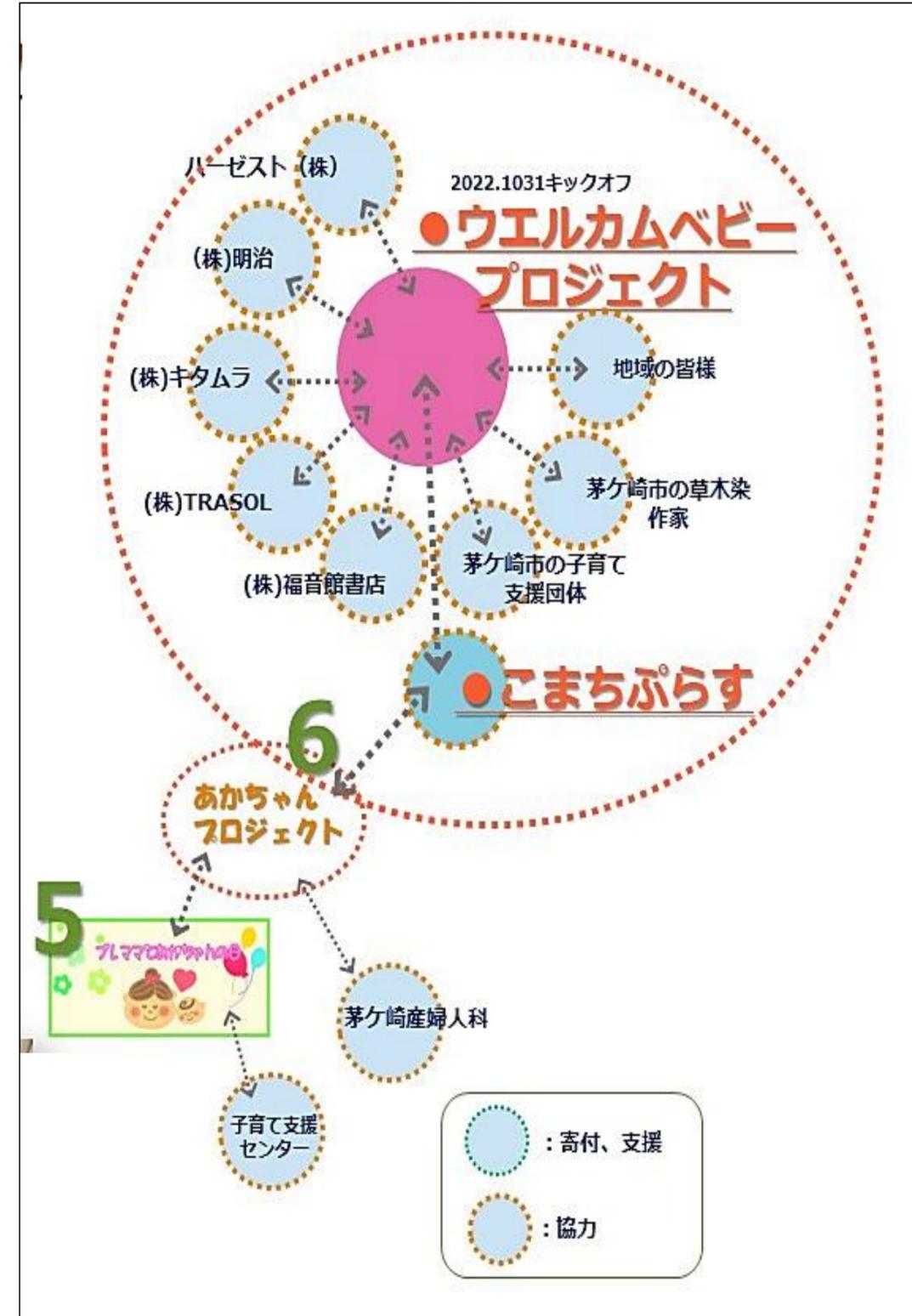
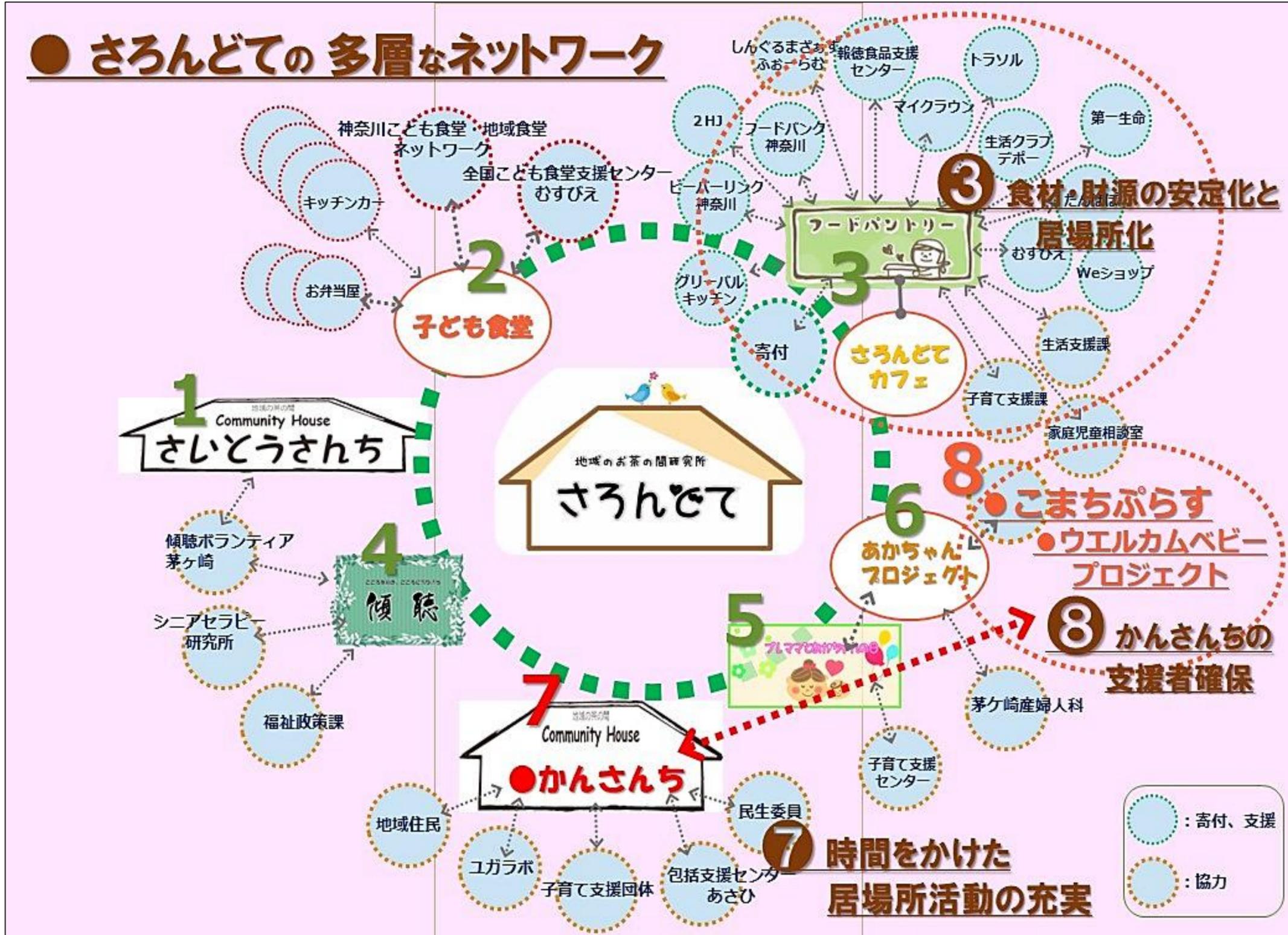
ゆるさ



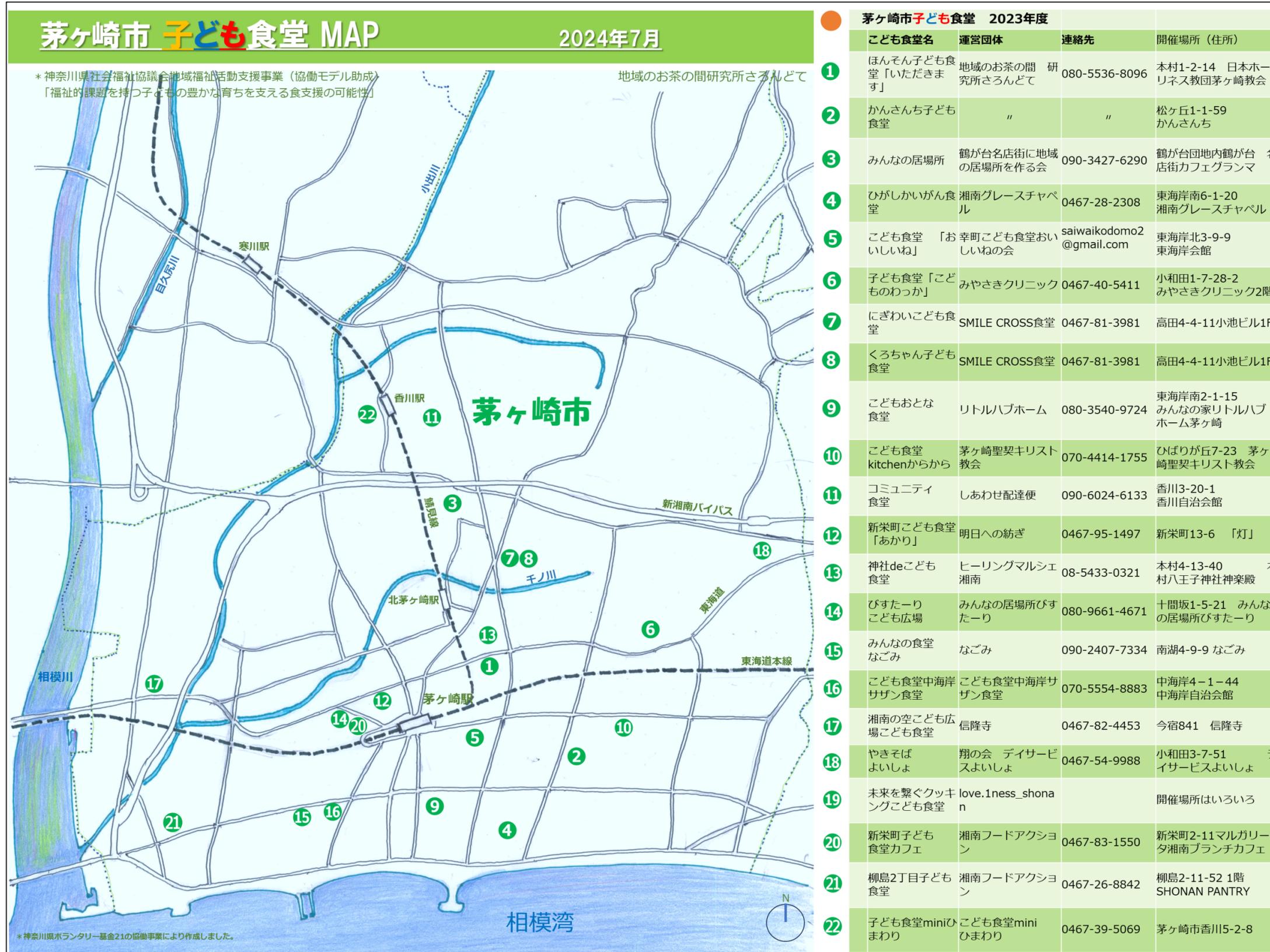
自由度が高い、自立性が
生まれやすい。

■茅ヶ崎市『さろんどて』への展開 2023

「ウェルカムベビープロジェクト支援、「さろんどて」ネットワーク図作成



■ 「茅ヶ崎市 子ども食堂MAP」 作成



● 「さろんどて」さんの依頼で「茅ヶ崎市 子ども食堂MAP」の作成に協力。

● 県社協と「さろんどて」の協働事業のヤングケアラー支援事業の支援も行った。



● 支援をしながら、様々な実践での学び（フィードバック）にもなった。

■大磯市国分台計画 農業+障害者福祉+大学



- 大磯市国府本郷のK氏の活動を支援し、現在も伴走中。
- 田園調布大学の和先生と地域の活動者との連携を支援

■ 地域連携活動支援

● 港北区子ども若者支援団体交流会



● 港北区の子ども若者支援を支える活動団体・行政機関・社協・ケアプラザ等を繋いで**支援を広げていきたい**と考えています。(大倉山ミエルは事務局)



● お互いの**活動の相互理解**



● **テーマ毎の相互交流**

● **今後の展開：**

- ① ケアプラエリア毎 (9エリア) の日常的情報交換関係づくり
- ② **課題解決型から 伴走型** (寄添い型支援) へ
- ③ 子ども関連のあらゆる支援等の活動の交流会に。

■普及のためのプレ研修2021

つながる研修 プレ研修 第2土曜日 13:00~15:30

大倉山ミエルは『孤の解消』のために「活動団体をつなぐことによる活性化事業」を行っています。つながる事そのものが目的であることを実感しながら、コミュニティに関心のある様々な人が、ミエルとつながって、各人が一歩をふみ出すための研修です。

■研修のポイント

- ① ミエル等の実際の活動の課題を実感し、共に考える。
- ② 現地での活動体験も行います。(研修と別日予定。後日設定)
- ③ 参加者は各人の思いを形にして発表してもらいます。
- ④ ミエルスタッフもあなたの一歩を共に考えます。
- ⑤ 将来も継続的なつながりを作ります。

■スケジュール



※スケジュールは変更になることがありますがご了承ください。

■研修内容(基本的にオンライン(Zoom)で考えています)

1 居場所 ミエルの居場所とミエル企画部 11/13(土) 13:00~15:30

大倉山ミエルの①妊婦からシニアの居場所活動の現在と、②ミエルを自主的に支える21人の『ミエル企画部』の誕生と現在の活動、そして今の課題を共有してもらおう事で、各参加者にとっての活動の目的や居場所の目的と運営組織の在り方を共に考えます。同時に参加者の方々の其々の思いについてもらいます。

2 子育て 棒田さんとミエル企画部 12/12(日) 13:30~15:30

妊産婦支援を中心に『ここみて港北』『赤ちゃんカフェ』を主催し、ミエルを自主的に支える『ミエル企画部』の心の支えともなっている棒田あきこさん、そして、『子育てニッポン』等での全国での知見がミエルにも生かされているところを実感し、開かれたコミュニティの豊かさ、楽しさを実感します。同時に参加者の思いについてもう一度考えてもらいます。

3 環境 『熊スタ』と『大倉山はちみつ保存会』 1/8(土) 13:30~15:30

『熊野の森もろおかスタイル』が目指す持続可能な暮らしを目指して広がる様々な活動や、ミエルとの協働の活動である横浜まち普請事業、「大倉山ハチみつ保存会」や「ミエル畑部」の協働活動の有り様、今後の取組についても話合います。そして、できれば参加者の方々に各人に思いを形にし話してもらいます。

4 思いを形に 『発表』と『話し合い』 2/12(土) 13:30~15:30

前3回のWSやアンケート等を通して考えた事をふまえて、参加者各人にそれぞれの思いを形にして発表してもらいます。そして、みんなで意見交換をしたいと考えています。

つながる研修・プレ研修 2021

開催日：2021年10月~3月、第2土曜日
4回程度：研修+話し合い
1回2時間半程度(オンライン)
定員：10名程度+オーディエンス参加
(各回500円、プレ研修は無料)

場 所：基本オンライン(Zoom)で行います。
参加費：3000円、全4回(プレ研修なので無料)
申込先：大倉山ミエルに電話+メール
☎：045-717-6778
Mail：miel@rf6.so-net.ne.jp



① 1年目

- ① 実践で考える。4回シリーズ：通し3000円
- ② 参加者の発表。
- ③ つながり続ける関係づくり



② 2年目から

- ① 個別対応：数人で : 1000円/1回
- ② 毎月1回+随時の開催
- ③ 気に入ってくれた人と繋がる

● 事業後の展開：ミエルのその後

■ 地域連携活動支援

● よこはま 子ども若者が孤立しない地域づくり研究会

よこはま 子ども・若者 インクルージョンセミナー2024

よこはま 子ども・若者インクルージョンセミナーとは、子ども・若者を取り巻く現状を学び合うとともに、これからの地域づくりについて行政・民間団体・地域に暮らす方々とともに考える場です。
連続での申し込みが基本となりますが、単回での参加も可能です。
オンライン参加やアーカイブ配信もありますので、ご都合に合わせて、お申込みください。
対面・オンライン参加の申し込み締め切りは、準備の都合上、各回の開催日の2日前までになります。

※会場について
A：横浜市青少年育成センターあるいは B：さくらリビングとなります。第1回・第5回・第6回は未定のため、決まり次第お知らせさせていただきます。

最新の情報はこちらから 

開催日	テーマ	講師	会場
第1回 5/18(土) 9:30-12:00	横浜市の子ども貧困の実態と対策 ～「第2期子どもの貧困対策に関する計画」を中心に～	横浜市子ども青少年局企画調整課	開港記念会館7号会議室(定員45名)
第2回 6/15(土) 9:30-12:00	① 支援困難家庭実態調査と困難を抱える子どもへの支援 ② 生活困窮者自立支援制度について	岡田朋子氏(元横浜市職員) 岡部卓氏(明治大学専任教授)	A(定員70名)
第3回 7/20(土) 9:30-12:00	子どもの育ちと居場所・寄り添い(伴走)支援 「子どもの居場所づくりに関する指針」について	鈴木晶子氏(NPO法人パノラマ理事) 小川杏子氏(パノラマ職員、子どもの居場所部会委員)	A(定員70名)
第4回 9/14(土) 9:30-12:00	寄り添いと居場所・地域の実践事例共有	鈴木晶子氏(NPO法人パノラマ理事)	B(定員70名)
第5回 10/19(土) 9:30-12:00	子どもの貧困と地域づくり	青砥恭氏(さいたまユースサポートネット代表理事)	未定
第6回 2025年3月	*連続講座のまとめと提言(シンポジウム予定)		未定

参加費
会場：500円(各回)
オンライン参加・アーカイブ配信：3000円(6回分まとめて)

司会進行(第1～5回)：
米田佐知子(子どもの未来サポートオフィス代表)

お問い合わせ・お申込み
よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会
yokohama.kowaka.inclusion@gmail.com
090-6018-8359(事務局 守田) / 045-717-6778(事務局 鈴木(大倉山ミエル))

会場参加申込みはこちら 
オンライン参加・アーカイブ配信の申込みはこちら 

よこはま 子ども・若者インクルージョンセミナー 2024 ～ 誰一人取り残さない ～

昨年4月「子ども基本法」が施行され、横浜市においても“子ども・子育て支援”をめくってさらなる施策の展開が期待されています。<子どもまんなか>という基本方針に加え、基本法の中では「全ての子供・若者」ということが謳われています。
さて私たちのそばにいる「子どもや家族の実態」はしっかりと地域で共有され、<小さな声>は行政まで届けられているでしょうか？
横浜市では2014年に「子どもの貧困対策推進法」が施行される以前から、地域の取り組みをモデルに様々な貧困の連鎖予防に関する施策が展開されてきました。
この連続講座では、横浜市の「子どもの貧困対策」に関わる歴史や施策を学びながら、各地域や居場所における実践や情報を交換し合い、私たちが取り組むべき課題を一緒に考え、幅広い市民や行政に向けて共有・発信をしていきます。

開催日：連続講座(5/18 6/15 7/20 9/14 10/19)
参加対象者：
地域で子どもや若者とともに「居場所」や寄り添い支援などの活動をしている方。および関心のある方。その他。
会場：
原則として、横浜市青少年育成センターまたは、さくらリビング。(変更の可能性あり。確定会場は、セミナー申込者へ連絡します。
オンライン参加・アーカイブ配信もあります。

会場により、定員が異なります。
内容の詳細は裏面へ！！

よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会とは？
横浜市内の地域で孤立している子ども若者たちの実態を知り、これらの子ども・若者たちの社会参加を応援すること、地域に住む市民みんなが理解を深め、日ごろから少しずつ気にかけて声かけや協力がしあえるような地域づくりについて地域みんなで考えて行こうと立ち上がった研究会です。
会長：加藤彰彦
副会長：武藤 啓司/青砥 恭
ホームページはこちらから 
情報配信申し込みはこちらから 

主催 よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会
共催：(認定NPO)市民セクターよこはま・(公財)よこはまユース
後援：横浜市子ども青少年局・(社福)横浜市社会福祉協議会・横浜子ども食堂ネットワーク・(公社)神奈川県社会福祉士会・(一社)ラック045・横浜子ども支援協議会・みんなで話そう！横浜での子育てワイワイ会議

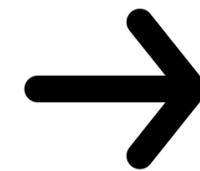
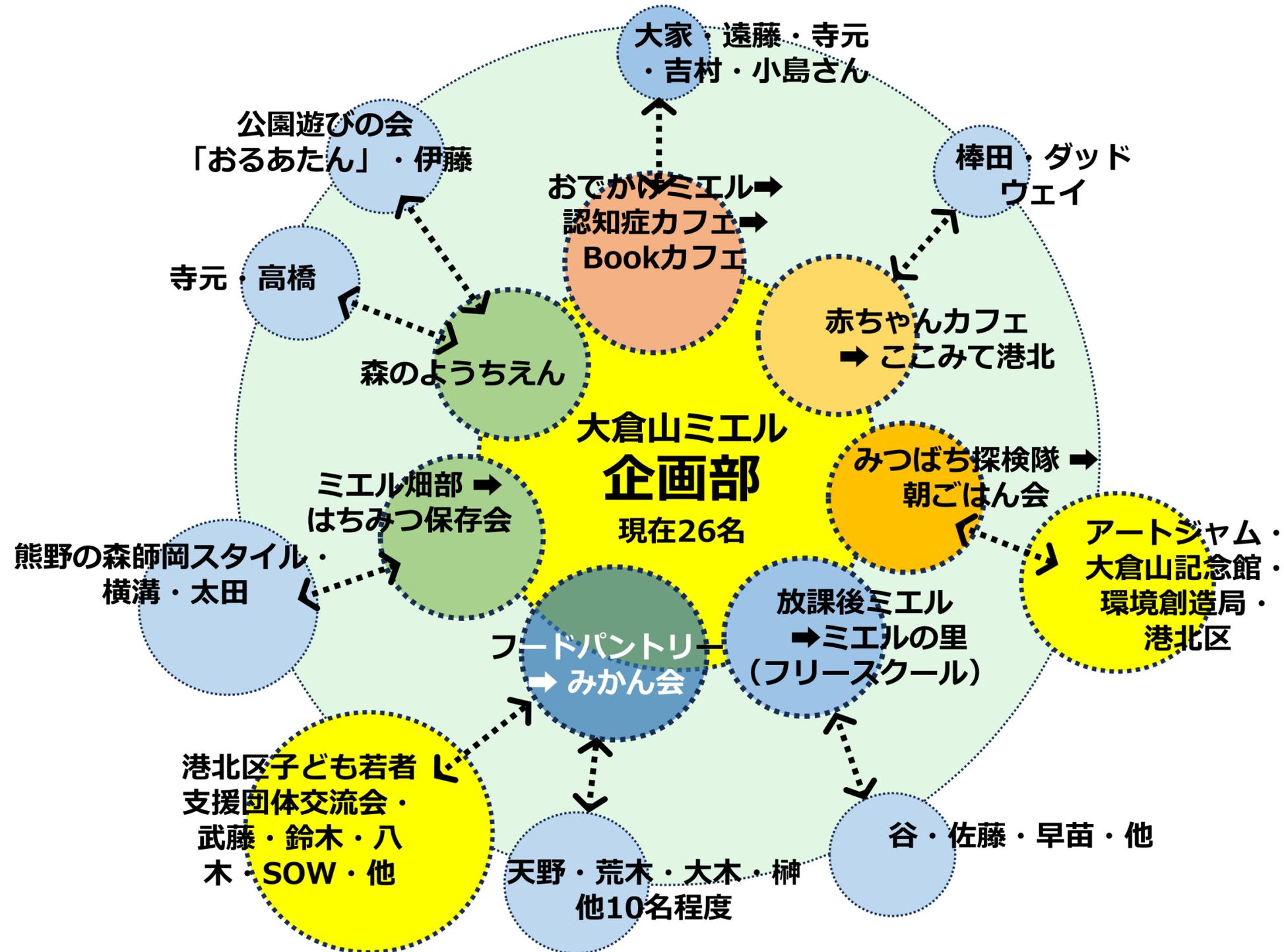
●2024年度：横浜市の困難家庭等を取り巻く状況を学ぶ・知る。



●2025年度：4つのモデル地域の地域で、子ども若者を支える活動を見える化し展開する。

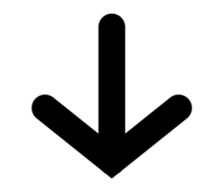
■ミエルの活動の輪

●活動歴14年のつながりの輪：無理せずゆっくりつながり続ける

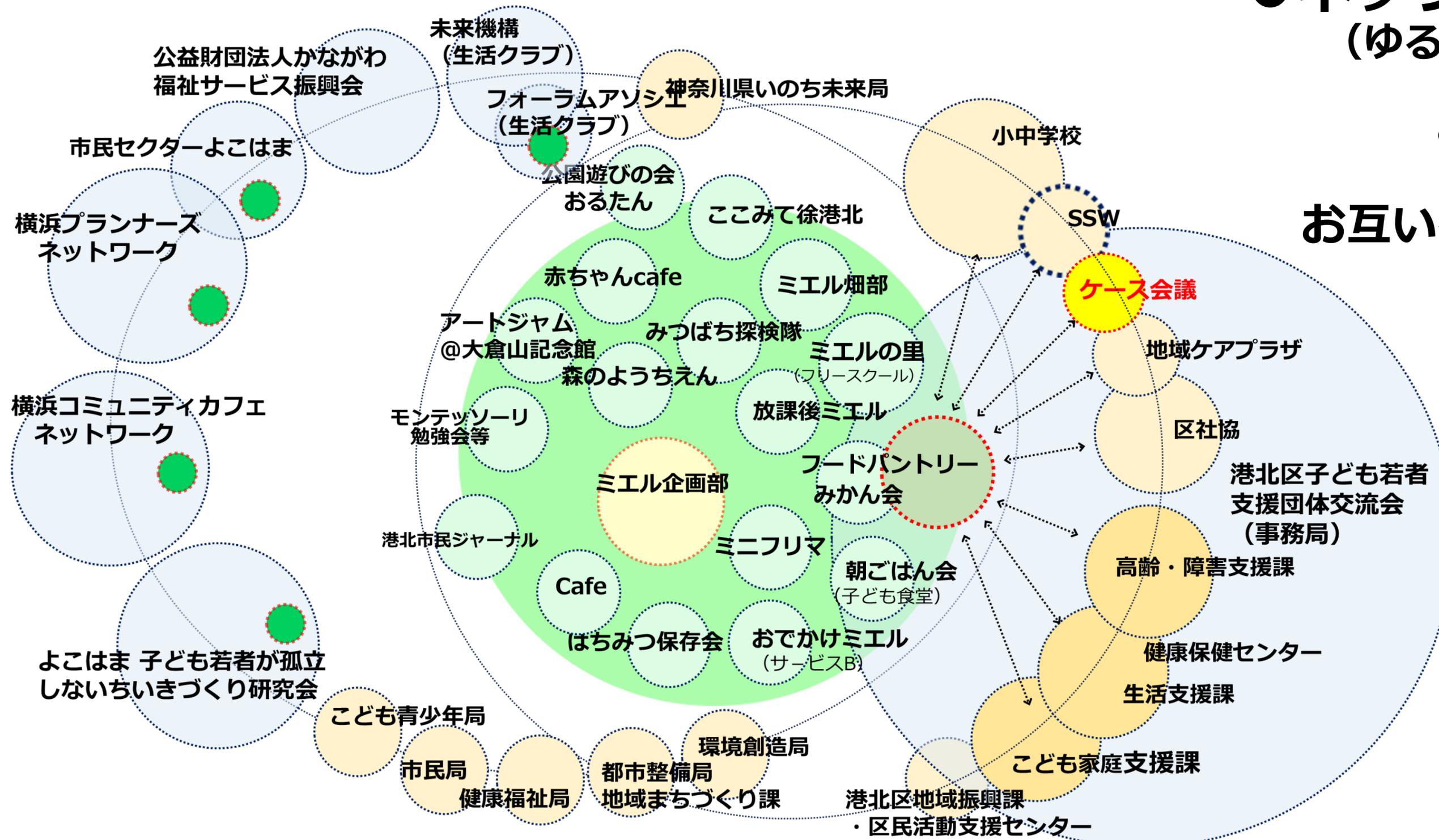


『つながることこそ目的』

●ネットワーク型連携 (ゆるく・つながる)



お互いを知ることから



う が み る



Okurayama

